

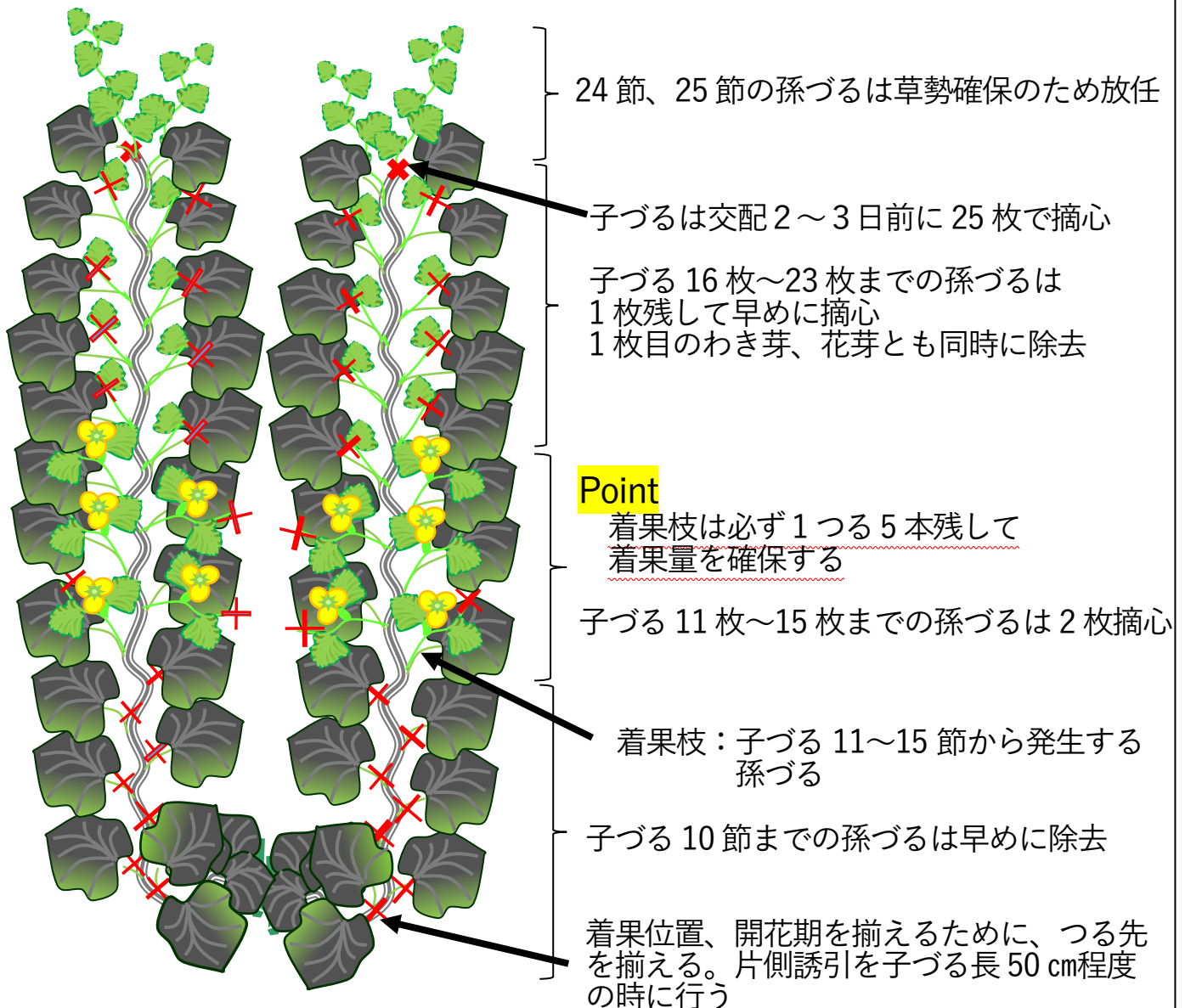


仙台管区気象台 4月27日発表の1か月予報では、気温は平年より高くなり、日射量は少ない予報です。ハウス管理に気を付けましょう！

- ▶ 花芽分化期に低温になったことや、花芽が充実する時期が曇天で経過しています。花飛びや花芽の充実不足が懸念されます。
保温管理を心掛け、花芽を多めに残すようにしましょう！

ハウス早熟栽培 ～適期に整枝を行いましょう～

(1) 整枝



Point

- ・低温等による雌花の充実不足が懸念される場合は、着果節を上げる等の対応をとる。
- ・摘心、摘葉、整枝は必ず晴天時に行い、夕方には傷口が乾くようにする。

(2) ハウス内温度

- ・生育や開花を揃えるため、適正なハウス内気温(日中 25～30℃,夜間 15℃以上)にする。

(3) 交配

- ・ミツバチは、開花予定の 3～4 日前に搬入する。
- ・交配期に防除を行う場合は、ミツバチへの影響を考慮し、薬剤を選定する。
- ・搬入直前・直後の防除は行わない (ミツバチ搬入の 7 日前に防除を終わらせる)。

Point

害虫の発生が早くなっているため、ミツバチ搬入前にしっかりと確認し、防除しましょう！

また、曇天続きの日は、べと病が発生しやすいです。天気予報を確認し早期防除を！！

トンネル早熟栽培 ～苗の状態や天気予報を参考に適期定植を～

- ・うね表面から深さ 10 cm の地温 16℃以上を確保してから定植する。
- ・定植前に、殺虫剤 (苗への灌注剤や粒剤) を施用する (写真 1)。
- ・定植時は、根鉢周辺の畑土を押さえ、根鉢と畑土との間に隙間がないようにする。

Point

根が切れて、活着不良になるため、根鉢は直接おさえない！

- ・定植後は根鉢の周囲に灌水し、根鉢周辺の隙間をなくす。
- ・植穴周囲にマルチ押さえの土をのせる。

※寄せ土には、マルチ被覆前に除草剤を処理した土は使用しない(薬害の恐れあり！)



写真1 植穴への殺虫剤(粒状)処理

Point

天候の影響等で定植が遅れる場合は、

苗の状態を見て液肥の灌注を行う。

- ・生育初期は、換気する際にメロンに直接風が当たらないように、定植した反対側の裾を上げて換気する (写真 2)。
- ・トンネル内は日中 20～25℃、夜間 12℃以上で管理する。
- ・夜間に低温が予想される場合は、日中の暖気なるべく逃がさないように早めに保温する。



写真2 定植直後の換気

問い合わせ先

庄内総合支庁

農業技術普及課

TEL : 0235-64-2103

酒田農業技術普及課

TEL : 0234-22-6521

作成：庄内砂丘メロン産地
強化プロジェクト会議